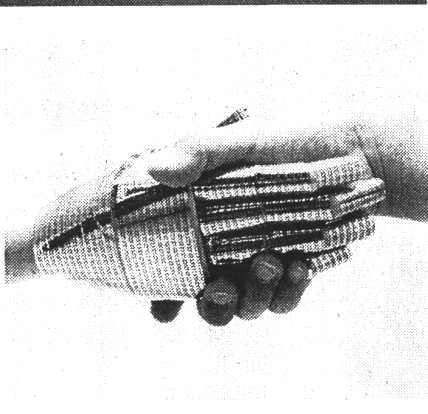


介護の手足となるッ



ロボット

人を乗せ歩行
電子人工皮膚

人を乗せて歩くことができる二足歩行ロボットを、高西淳夫・早稲田大教授らのグループが開発し、二十一日公開した。車いすに代わる歩行支援ロボットとして、数年後の実用化を目指す。

高さ約一・二メートルの本体上部に座席があり、体重六〇歳の大人を乗せて前後左右に歩く。車いすの

従来の二足歩行ロボットは十キ程度の荷重が限界で、人が乗れるものは初めて。

東京大学国際・産学共同研究センターの桜井貴

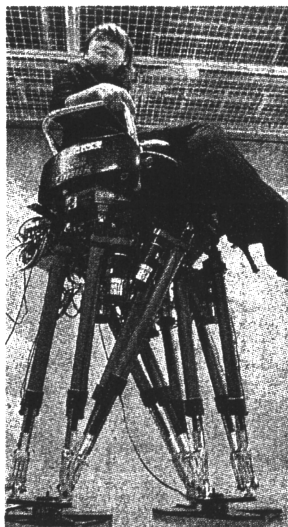
康教授らのグループは、ロボットの手に人間並みの繊細な感覚を持たせるための電子人工皮膚「写真」を開発し、同日発表した。二・三ミリの有機トランジスタを同程度の間隔で多数配置した薄膜と、導電性の感圧ゴム膜などを重ねたフィルムは、柔軟で自由に曲げられるのが特徴。

五年後には、ロボットもこの電子人工皮膚で、ざらざら感やぬくもりを

やさしいロボットが支える

30

「人にやさしいロボット」の実……産学共同チームは、人を乗せて歩現在近づいている。早稲田大学の……くことができる二足歩行ロボット



「写真」を披露。東京大学は、将来の介護ロボットの手に使える繊細な感覚を備えた電子人工皮膚を開発した。